



進取

令和3年4月28日発行

阿久根市立阿久根小学校
29学級 児童数434人

4つのがんばってほしいこと

校長 深川 光久

4月もあとわずかとなりました。子供たちも新しい学級の友達や先生に慣れつつあるところです。しかし、新しい環境にまだ戸惑っているお子さんもいることでしょう。どうぞ遠慮なく担任にご相談ください。

さて、私は年度初めの始業式に子供たちに頑張ってもらいたいこと話しています。昨年は3つ話しましたが、今年は少し欲張って「4つの頑張ってもらいたいこと」を話しました。本年度は集会形式でのPTA総会をできませんでしたので、保護者の皆様の前でお話することはなかなかありません。それで、子供たちに話した「4つのがんばってほしいこと」で学校経営の一端を御理解いただければ有難いです。

がんばってほしいことその1 「自分の命は自分で守る」

国道3号線や肥薩おれんじ鉄道の線路や踏切があるという現状から、日頃から「自分の命は自分の守る。」という意識をもって、交通ルールを守って過ごしてほしいということです。右は昨年つくった阿久根小交通安全「トマトの約束」です。交通安全教室でも話しましたが、ご家庭でも繰り返し子供たちにお話してください。その他不審者対策やコロナ対応も自分の命は自分で守ることであることを話しています。

しょうこうつうあんぜん
あくね小 交通安全 トマトのやくそく

- ト とまって、くるまをみる。
- マ まつよ あかしんごう。
- ト とびださない こうさてん。

がんばってほしいことその2 「みんなが笑顔になるために、できることをやってみよう。」

自分たちの学級は自分たちでつくるもの。担任に任せて、人がつくってくれるものと思うのではいい学級にはならないと話しています。学級のみんなが笑顔で暮らせるように、みんなで考え、行動しようと話しています。これは、子供たちに当事者意識を持たせ、学級の望ましい人間関係づくりができるようにするために話しています。こうすることで、楽しい学級になるとともに、いじめを早期発見したり、いじめが起きにくい土壌をつくったりすることができます。

がんばってほしいことその3 「はきものをそろえよう。」

玄関の靴箱を見れば、その学校の子供たちの様子が分かりますと言われます。自分たちの靴箱やトイレのスリッパなどを揃えることは、自分のことを自分できちんとする習慣を日頃から付けさせることであり、「自立」のスタートであると思います。簡単なことのようになかなかできないことです。ご家庭でも、「学校でも言われているでしょう。」と玄関の靴を揃えさせてください。

がんばってほしいことその4 「粘り強く取り組もう。」

日頃授業で分かっているけど、テストになるとなかなか成績に表れない子供がいます。そんな子供たちには、もう少し頑張ればできる問題を早々にあきらめてしまう子供が多いです。日頃から、運動でも、勉強でももう一踏ん張り、粘り強く頑張る子供たちになってほしいのです。そういった日々の積み重ねで、できることが増え、学校が楽しくなってきます。分からないときも、うまくできないときもじっと我慢して、考えたり、再チャレンジしたりできる子供になってほしいものです。きっと1年後には大きく成長できることでしょう。

